



# 新しい薬剤師像に向かって

福山大学

**医療**の高度化に対応する薬物療法と疾病に関する専門的な知識と技能の修得はもとより、患者さんに寄り添う誠実さを身につけた薬剤師の育成を目指します。福山大学薬学部は創設40周年を越え、多くの歴史を持っています。

## 医療人としてのマインドを育む

初年次には病院、保険薬局、ドラッグストアなどを訪問し、薬剤師の役割を学ぶとともに、大学で学ぶ目的を明確にします。本学独自の『交流学习』では、保育園児や高齢者と長期間パートナーとなり、互いの心に寄り添いながら人間関係を築き、ホスピタリティを育み、コミュニケーション能力の向上を図っています。



保育園児との交流学习



## 『医療薬学教育の実践』を教育理念に

日本で最初に『医療薬学教育の実践』を教育理念に1982年に開設され、これまでに約5,000名の卒業生を輩出しています。その98%が薬剤師として活躍し、多くの医療機関から高い評価を頂いています。本学の伝統と実績に裏付けられた教育システムを結集した医療薬学教育センターを中心に、ヒューマニズム教育・医療薬学教育を体系的に行っています。



白衣を着て職業人としての決意

## 第三者評価適合校

令和3年度の本学部薬学教育について薬学教育評価機構の第2回目の評価を受け、平成25年度の第1回目適合に引き続き適合認定を受けました。薬学教育評価機構とは、6年制薬学教育機関の教育の質を保証するために、薬学教育プログラムの公正かつ適正な評価を行う第三者機関のことで



適合認定マーク

## 薬剤師は人と向き合う仕事です!!

人々の人生に、薬の使用や健康相談を通じて意味のある貢献をするために、本学部では病気や薬の広く深い知識修得だけでなく、多くの方と好ましい人間関係を作るコミュニケーション能力を磨きます。

## 問題解決能力を身につける

基礎から段階的に学べる充実したカリキュラムによって高度な知識と高い実践能力を修得します。全員が、令和3年から新しく建設された未来創造館にある薬学部研究室に配属され、問題解決力を養い、医療人としてのサイエンスを身につけます。



全員が卒業研究に取り組む



令和3年度より新たな薬学研究棟  
: 未来創造館  
<https://www.fukuyama-u.ac.jp/news/43343/>

## 医療薬学教育センター

医療薬学教育のパイオニアとしての伝統と実績に裏付けられた医療薬学教育センターは、全国屈指の医療薬学教育の実践の場です。学生が主体となって学ぶアクティブラーニングはもとより、最新鋭の機器を備え、すべての薬剤師業務を修得することができます。



無菌製剤（注射剤）の調製

## ふるさと実習（実務実習）

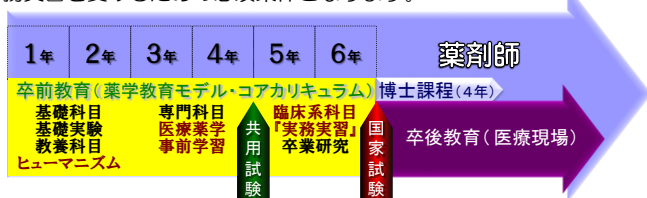
全教員が月1回各地区に出向き、学生を集めて実習セミナーを開催し、実習状況の確認や指導を行います。さらに実習施設を3~4回訪問して指導薬剤師と意見交換を行い、より良い実習になるようきめ細やかな教育体制を整えています。



実務実習

# 薬学共用試験と薬剤師国家試験

実務実習(5年次)は、病院や薬局などの医療現場で薬剤師の指導・監督のもと、調剤や患者対応などの薬剤師業務を学ぶ参加型実習です。薬剤師の資格を持たない薬学生が薬剤師と同じ医療行為を行うためには、CBT(知識)とOSCE(技能・態度)からなる薬学共用試験(4年次)に合格しなければなりません。知識・技能・態度が一定水準に到達していることを保証する薬学共用試験は、実務実習を受けるための必須条件となります。



薬剤師国家試験の受験資格は「6年制薬学課程を修めて卒業した者」に限定されています。現行の4年制薬学教育課程の学生の中には、薬剤師として臨床に携わりたいとの願いから、6年制への編入学希望者が増えています。

## 在学生からみた本学のアピールポイント

在学生があげる本学の特色は以下の通りです。

- 充実した医療薬学教育が受けられる。
- 分かり易い授業で、先生が優しく、距離が近い
- 先輩が勉強や生活の相談相手になってくれるメンター制がある。
- 奨学金制度が整っている。
- コミュニケーションやヒューマニズム教育が充実している。
- 特色ある交流学习が楽しい。
- グループ学修や自己学修のための部屋が沢山ある。
- アクティブラーニングや体験型学修が多い。
- 全員が研究室に入り、研究ができる
- 自然豊かなキャンパス



アクティブラーニング



先輩メンターによる学修指導

## 第108回薬剤師国家試験

今春の第108回薬剤師国家試験の国試受験出願者(令和4年度6年生在籍者)に対する合格率は65.6%でした。合格者に占める新卒者の割合は、71.9%で中国四国地区においてトップレベルでした。

### 就職率100%

近年、薬剤師過剰時代が到来と言われていましたが、医療の高度化や多様化に伴い、薬剤師を取り巻く環境が大きく変化し、求められる薬剤師の役割も大幅に広がってきています。そのため、医療現場で活躍できる薬剤師がさらに求められています。

# 日本薬学会第143年会学生優秀発表賞

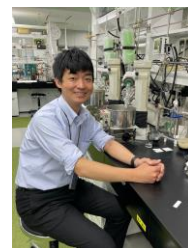
令和5年3月に札幌で開催された日本薬学会で、優れた研究成果を発表した学生に送られる「学生優秀発表賞」を漢方薬物解析学研究室の6年生が見事受賞し、表彰されました。

薬学部生は3年次後期から20の研究室(基礎薬学10、衛生薬学2、医療薬学5、薬学臨床3)に配属し、研究室教員の指導のもとに課題研究を行っています。研究成果は、学会発表・論文報告により世界へ情報発信しています。本学は、このように研究に取り組める環境が充実しています。



## 世界へ通じる最先端の研究!

西山卓志講師(本学6年制薬学部1期卒業生)は、新薬開発のきっかけとなる新規化合物、特に天然物から見出される複素環化合物に対して有機合成化学をツールとして使った全合成研究を行い、治療に有効と思われる新薬の種(シーズ)の探索研究を行っています。特に、近年がん治療は、がん分子標的薬の開発など、治療の選択肢が広がっていますが、高額な医療費がかかることから安価で使用できる低分子化合物の抗がん剤開発を目指し、世界中の研究者と切磋琢磨しながら研究を展開し、その研究成果の論文は著名な学術雑誌に多数掲載されています。



## 安い総納付金

本学では授業料以外に実習費、施設費、実務実習費などを別に徴収致しません。

2022年度私立薬科大学(薬学部6年制)学生納付金(単位:千円)

全国平均	福山大学
12,047	11,560

(資料:日本私立薬科大学協会たより 第99号 令和4年6月)

2024年度福山大学薬学部学生納付金(単位:千円)

\*福山大学薬学部は、2024年度入学生から入学金を半額の20万円にします。

入学金	授業料	施設設備費	実験実習費	教育充実費	実務実習費	その他	初年度納付金	6年間総納付金
200*	1,860	0	0	0	0	0	2,060	11,360

## 本学の奨学金制度

毎年度薬学部入学生の約50%が特別奨学生です。以下の奨学金のほかに、企業奨学金があります。

特別奨学生A	授業料の50%を減免	6年間 ※毎年継続条件あり	公募推薦型選抜 一般選抜 大学入学共通テスト利用選抜
特別奨学生B	薬学部:授業料の30%を減免	6年間 ※毎年継続条件あり	指定校推薦型選抜
一般奨学生	薬学部:授業料の50万円を減免	当該年度のみ	2年次以降毎年選考(若干名)

\*2年次以降、前年度学科で定められた単位数以上を取得し、かつ前年度単位取得科目の平均点が75点以上の場合に限ります。入学時奨学生の約70%が卒業まで奨学生を継続しています。



<https://www.fukuyama-u.ac.jp/pharm/>



薬学部ホームページ



<https://www.fukuyama-u.ac.jp/>

お問い合わせ 福山大学 入試広報室 Tel: 084-936-0521  
Mail: kouhou@fukuyama-u.ac.jp